

千葉市災害対策本部 本部員会議 29回目

1 日時

令和元年10月26日(土) 8時30分～

2 議事内容

(1) 本部長指示事項

- ・亡くなられた方々にお悔やみを申し上げたい。千葉市において、災害で亡くなられた方がいらっしゃるの自分の記憶に残る限りない。大きな、忘れてはいけない災害になった。
- ・命を助けることはできなかったが自衛隊・消防をはじめ、市として全力を尽くし人命救助の活動にあたった。昨夜は、避難所・帰宅困難者用一時滞在施設・各部・各区で夜を徹しての活動であった。
- ・まだ地盤が緩んでいるので、土砂には引き続き注意をしていきたい。
- ・亡くなられた方にはお子さんがいると聞いている。メンタルケアを教育委員会・保健福祉局で連携して行ってほしい。
- ・浸水家屋も多数ある。消毒や、必要があればボランティアセンターと連携して片付けを行うことも必要。
- ・被災者の方々が、一日でも早く生活再建できるように対応していく必要がある。

(2) 各部からの報告

○消防部

- ・ヘリ映像で説明(土砂災害で崩れた家屋の様子)
- (市長)今は崩れていないが、崖の上に立っている家屋等の住民はどうしているのか。
- (事務局)自治会館に自主避難している。
- ・資料に基づき説明。
下線の引いてあるところが、昨日からの変更点。災害出動については昨日から27件増加で168件、救急出動については18件で活動中は2件となっている。備考について、浸水は昨日から26件増加、がけ崩れは1件増加、氾濫等は7件増加となった。
- ・県内の被害がひどく、長生郡市消防本部へ、冠水への対応のためボート隊を出動させた。災害時の広域応援協定に基づき10隊の要請があったため、計11隊70人を結集させ、ボートで17人救出した。まだ現場で待機している状況。
- ・ヘリでの被害状況の確認について、県防災部長から本日6時00分に、印旛地区、茂原地区、市原地区について飛行依頼があったため、9時50分に県職員同乗のうえ県内の被害状況を調査に行く予定。

○事務局

- ・資料に基づき説明。
- ・床上20件、床下60件と大きな被害が発生している。また、今後も被害が判明してい

くと思う。

- ・避難所の開設状況について、本日6時00分時点で、35か所で41名受け入れている。徐々に自宅に帰られているので、順次閉鎖していく。
- ・帰宅困難者用一時滞在施設の開設状況について、本日1時00分時点で、6か所で877名（最大）を受け入れた。朝から徐々に運行が再開されたため、既に閉鎖となっている施設もある。順次交通機関が回復し次第、閉鎖していく。
- ・自衛隊について、県を通じて要請し活動していただいたが、本日撤収要請を行い、活動を終了した。
- ・JRの計画運休について、菅田駅～上総一ノ宮駅間で、まだ線路下の土砂の影響があり、昼頃まで運転見合わせと聞いている。

○消防部

- ・本日6時30分～7時30分の間でパトロールを実施したところ、大巖寺で道路の路肩が崩れていることが判明した。今後、建設部と共有して対応していく。

○建設部

- ・夜間、市民からの連絡が多数あった。8時00分時点で、道路の通行止めが15か所あり、そのうち土砂関連は8か所。越智町3件、下大和田町、大木戸町、佐和町、大巖寺町で起きており、ほぼ緑区で発生。朝パトロールしたところ、近づけない状況であり、安全性を考慮しながら対応するが、下からえぐられた状態であるため、大がかりな復旧になると思う。
- ・冠水に関連した被害は7か所ある。大きな被害は、御成街道の提灯池付近が冠水しており、全面通行止めとなっているほか、浜野四街道長沼線で都川の影響により片側通行のみ可能となっている。また、車両の立ち止まりが1か所あり、撤去しないと通れない場所がある。水の状況を見て対応していく。
- ・下水道について、溢水箇所の消毒を進めていく。現在16か所判明しており、これから増える可能性もある。
- ・農業集落排水の大和田処理場が水没し、機能停止している。バキュームによる汚水搬出を行っているが、施設改修に相当の費用を要すると思われる。
- ・高速道路の状況については、市内全て開通しているが、外房有料道路は大木戸インターから茂原方面が通行可能となったが、市内区間はまだ通行止めの状況。

○都市部

- ・交通状況について、JRは、上り方向はほぼ平常運転。内房線は、本日8時00分にまた、千葉駅～五井駅区間で遅れがでているとのこと。外房線は、土気駅～大網駅間がまだ再開していないが、昼までに再開見込みと聞いている。京成は通常通り運行。バスは迂回運転をしながらも動いている。高速バスも順次運転を開始している。
- ・り災者用住宅については、8戸が即入居可能、6戸が月曜日から入居可能の状態。緑区と協議して現在調整中。

- ・公園は、泉自然公園でまた被害が出たので本日は閉園している。昭和の森は一部閉鎖があるが開園している。動物公園も開園している。

○教育部

- ・児童の保護者への引き渡しについて、無事完了した。
 - ・被災した児童のケアをしていく必要がある。
 - ・学校施設の被害状況については、雨漏り以外大きなものはなかった。
- （市長）Twitter に、保護者の方から大雨のなか房総の方への屋外活動が実行されたとの連絡があった。その決断はどうしてされたものなのか。
- （教育委員会）花園小学校において、10時の時点で屋外活動に行っていることが判明した。まさか「房総のむら」の方だったとは思ってなかった。佐倉付近で冠水し、帰れなくなったことが分かった。また、この件のほかに、県文化会館で中学校の音楽祭を実施し冠水により帰れなくなった。教育委員会の把握が不十分であった。また、管理職の判断についてミスがあったと思う。
- （市長）計画しているものを全て中止にするのは困難であるが、前者（花園小学校）については、遠方かつ屋外なので、昨日の時点で実施の判断をしたのはあり得ないと思う。今後のために教育委員会全体で総括してほしい。バスが事故にあったら大変なことであった。

○保健福祉部

- ・被災した児童のメンタルケアについては、区や教育委員会と連携して対応していく。
- ・被災家屋の消毒については、鶴沢町で要望があり対応した。浸水地域が幅広く出ているので、急ぎ必要な体制をとっていきたい。
- ・医療機関と高齢施設については支障があるところはない。
- ・障害者施設については、裏の擁壁が崩れて土砂が流れた。市に瑕疵があるものではないが、市が貸している土地という状況。関係部局と連携して対応する。

○環境部

- ・今回の被害は浸水であるので、台風15号・19号と比較しゴミの質が違っていると感じている。家電や布団等が寄せられると思う。対応するエリアも集中してくると思うので、区から情報をもらい、個別に自治会長やその近隣の方と話をしていく。

○中央区

- ・帰宅困難者用一時滞在施設について、直近の避難者数を集計したところ、蘇我コミュニティセンターで50名、市民会館で70名、生涯学習センターで30名であった。生涯学習センターは8時00分で閉鎖しており、蘇我コミュニティセンターは10時00分で閉鎖予定。蘇我コミュニティセンターと生涯学習センターは本日も通常営業を行っており、通常営業の中で居ていただくのは構わないと伝えている。

○総務部

- ・緑区の被害がまた大きい。被災者への支援制度の対応で、またかなり人員が不足すると思う。どのような職種の人が必要か。

→（市長）必要な人員は総務局で調整するので、遠慮なく言ってもらえれば。

（３）今後の予定

- ・災害対策本部体制は引き続き継続したままとするが、今後大きな被害が判明しない限り本部員会議の予定はなし。なにかあれば参集できる体制としてもらえれば。